

水産宮崎

SUISAN MIYAZAKI



2015
06
899号

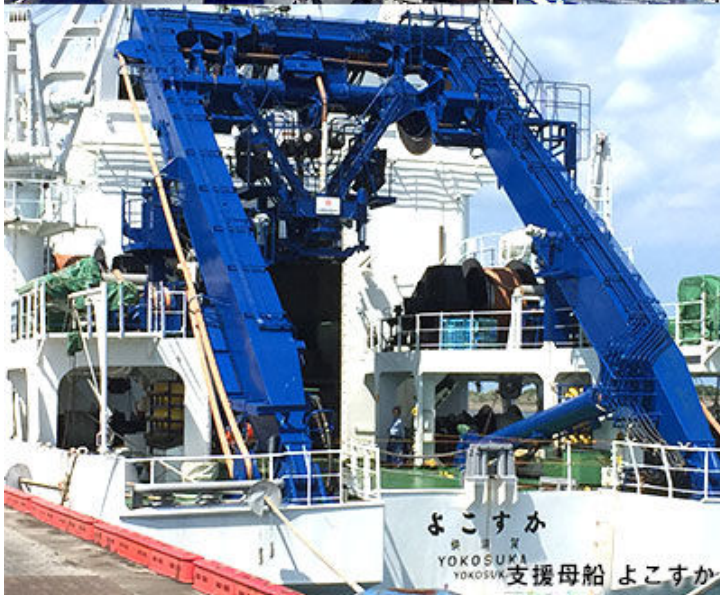
宮崎みなとまつりが賑わいを見せる



宮崎みなとまつり開催



大深度有人潜水調査船 しんかい6500



2015.6.1発行(毎月1回1日発行)

CONTENTS

FISHING POLITICS

漁政

平成27年度宮崎県資源管理協議会第1回総会

お魚料理講習会

平成27年5月属人水揚げ表

平成27年5月漁業生産統計

BUSINESS

業務情報

大地の恵みの名水「美泉水」販売のお知らせ

ライフジャケット着用の推進

フロン排出抑制法(改正フロン法)に係わる説明会

宮崎みなとまつり開催

食フェスタinみやざき開催

FISHERIES CO-OPERATIVE

漁連情報

平成27年度第一回宮崎のさかなビジネス拡大協議会が開催される!!

平成27年度第1回理事会

役員候補者推薦委員選出協議会及び役員候補者推薦会議

平成26年度決算監査実施

新人挨拶(田畑孔司・奈須充慶・谷口進一)

FISHERIES EXPERIMENT

水産試験場

イセエビの標識放流について -資源部-

5月の動き(県関係)

RELATED ORGANIZATION

関係機関

平成27年度宮崎県漁協参事会第一回定例会

宮崎県漁協職連第59回定期総会開催

5月の動き

水産宮崎ダウンロードサービス

※必要な方はコチラからA4サイズで出力出来ます。

平成27年度 宮崎県資源管理協議会第1回総会

平成27年5月19日に県庁において平成27年度宮崎県資源管理協議会第1回総会が開催されました。
平成26年度事業実績及び収支決算、平成27年事業計画、資源管理計画及び漁場改善計画の履行確認の認定のほか、従前の栽培漁業推進体制を資源管理体制に包括するための、宮崎県における水産資源の利用及び管理に関する基本方針の改正について審議され、全議案について承認されました。

お魚料理講習会

去る5月16日、小林市立三松中学校において今年度最初となるお魚料理講習会を開催した。38名の生徒・保護者が参加し、宮崎県漁業経営管理指導協会のご協力のもとかつお料理に挑戦した。

2kg前後のかつおをにぎったり、持ったりすることは初めての経験で、講師から手順やコツを聞きながらかつおたたき・かつお飯・かつおカツ・かつおの炙り・みそ汁を作った。試食の際はどの料理も美味しいと大好評であった。

多くの方にみやざきの魚の美味しさを感じていただくとともに、実際捌いてみることで親しみやすさを伝えられた講習となった。



平成27年5月属人水揚げ表

漁協名\区分	5月分			5月末累計			昨年同月累計			増減		魚価対比 %
	数量 t	金額 千円	魚価 円/kg	数量 t	金額 千円	魚価 円/kg	数量 t	金額 千円	魚価 円/kg	数量 t	金額 千円	
北浦	5,240	300,944	57	26,895	1,685,702	63	18,601	1,825,899	98	8,294	-140,197	-36.1
島浦町	1,323	148,575	112	6,000	717,088	120	5,396	834,823	155	604	-117,736	-22.7
延岡	29	12,223	416	175	74,280	423	272	94,961	349	-97	-20,681	21.4
延岡市	105	41,314	392	310	163,448	527	412	203,965	495	-102	-40,517	6.6
庵川	272	57,413	211	712	293,929	413	491	283,171	577	221	10,758	-28.4
門川	32	18,200	574	89	73,473	829	131	67,435	515	-42	6,039	60.9
日向市	508	343,543	676	1,946	1,385,494	712	1,794	1,071,418	597	151	314,077	19.2
都農町	38	26,485	696	272	157,487	580	228	150,066	659	44	7,421	-12.0
川南町	256	183,427	718	1,549	1,141,762	737	1,324	886,691	671	225	255,071	9.8
一ツ瀬	12	7,838	659	77	54,093	700	68	44,615	659	10	9,479	6.2
穂浜	6	2,868	484	39	17,977	456	70	24,974	354	-31	-6,997	28.5
宮崎	46	27,779	602	414	218,358	528	537	230,622	429	-124	-12,264	22.9
宮崎市	76	39,452	519	445	257,244	579	535	266,682	498	-91	-9,438	16.2
日南市	806	297,867	369	2,471	1,229,444	497	2,330	1,144,971	491	142	84,474	1.2
南郷	1,745	556,798	319	5,532	2,125,679	384	5,238	2,022,409	386	294	103,270	-0.5
栄松	158	60,837	384	403	177,199	440	486	200,796	413	-83	-23,597	6.5
外浦	871	254,141	292	2,551	920,504	361	2,496	976,709	391	55	-56,205	-7.8
串間市東	206	46,855	228	1,073	338,823	316	1,091	380,460	349	-18	-41,637	-9.5
串間市	530	326,943	617	3,837	2,195,105	572	3,757	2,128,022	566	80	67,083	1.0
合計	12,259	2,753,500	225	54,789	13,227,091	241	45,255	12,838,687	284	9,535	388,404	-14.9

端数処理の関係で、下1桁が合わない部分があります。

平成27年5月漁業生産統計

漁協\漁業種類	かつお一本釣	まぐろ延縄	旋網	曳縄	底曳網	船曳網	定置	養殖	その他	合計
北浦			26,522		62		292	9	9	26,895
			1,529,465		27,897		104,252	16,873	7,215	1,685,702
島浦町		214	5,530	0			102	139	14	6,000
		251,075	268,851	298			38,360	142,280	16,224	717,088
延岡				2	9	123				42
				1,031	5,054	58,456			9,738	74,280
延岡市	38			1	35	23	178	0	34	310
	14,718			723	18,332	15,800	85,510	443	27,922	163,448
庵川	18	230	241		29		143	26	26	712
	7,190	185,977	15,190		15,509		33,762	19,333	16,969	293,929
門川		26		3	27	11			22	89
		23,792		2,206	13,106	5,342			29,027	73,473
日向市	100	1,546		2	2	11	229	1	55	1,946
	44,270	1,207,285		1,215	1,077	2,570	86,315	1,176	41,589	1,385,494
都農町		214		4					54	272
		128,977		2,724					25,786	157,487
川南町		1,377		62	1				109	1,549
		1,022,349		44,896	703				73,814	1,141,762
一ツ瀬				9	8				60	77
				8,408	5,039				40,646	54,093
穂浜					2	17			21	39
					1,224	2,893			13,860	17,977
宮崎		237				125			52	414
		155,541				31,689			31,129	218,358
宮崎市		231	92	24	33	23	18		23	445
		146,602	38,050	18,704	18,520	4,368	14,300		16,700	257,244
日南市	1,374	935		42			72		47	2,471
	476,754	647,154		27,825			37,041		40,670	1,229,444
南郷	4,376	528		98			521		9	5,532
	1,612,966	290,289		62,726			149,659		10,039	2,125,679
栄松	333	38		32					0	403
	118,645	32,464		25,355					735	177,199
外浦	2,276	158					115		1	2,551
	768,264	93,430					57,593		1,217	920,504
串間市東		50		70			922		31	1,073
		34,796		39,793			247,972		16,262	338,823
串間市				6	1	6	9	3,804	11	3,837
				3,731	914	12,473	6,849	2,143,656	27,482	2,195,105
合計数量	8,515	5,783	32,385	356	210	339	2,602	3,980	620	54,789
〃金額	3,042,806	4,219,731	1,851,555	239,636	107,376	133,591	861,613	2,323,761	447,021	13,227,091
(魚価)	357	730	57	674	512	394	331	584	721	241
前年数量	8,516	4,451	23,388	454	244	1,154	2,357	3,983	708	45,255
〃金額	3,298,190	3,046,894	2,131,016	286,367	98,668	331,241	890,359	2,327,357	428,595	12,838,687
(魚価)	387	685	91	631	405	287	378	584	606	284
数量増減	-1	1,332	8,997	-99	-34	-815	245	-3	-88	9,535
〃対比(%)	-0.0	29.9	38.5	-21.7	-14.0	-70.6	10.4	-0.1	-12.4	21.1
金額増減	-255,384	1,172,837	-279,461	-46,731	8,708	-197,650	-28,746	-3,596	18,427	388,404
〃対比(%)	-7.7	38.5	-13.1	-16.3	8.8	-59.7	-3.2	-0.2	4.3	3.0
魚価増減	-30	45	-34	43	108	107	-47	-0	115	-42
〃対比(%)	-7.7	6.6	-37.3	6.9	26.6	37.3	-12.4	-0.1	19.1	-14.9

端数処理の関係で、下1桁が合わない部分があります。

大地の恵みの名水「美泉水」販売のお知らせ

発 売当初よりご愛顧頂いております「美泉水」の取扱もおかげさまで6年目を迎えました。

改めまして此れまでのご愛顧に対しお礼を申し上げますと共に今後益々、ご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

美泉水は、「安心して美味しく飲める」をコンセプトに、名水の産地である鹿児島県志布志町安楽の広大なシラス台地に降り注いだ雨水が長年の歳月をかけ岩間から湧水となって吹き出している源水を採用しております。そのままお飲み頂くのはもちろん、お茶・コーヒーの香りや持ち味をグンと引き立てます。

これから暑い夏場を迎え、水分補給が重要となってきます。熱中症予防にも、美泉水を愛飲されてはいかがでしょう？

ご購入に関するお問い合わせは下記の通り。



購買課	0985-28-6111
延岡支所	0982-37-0030
日南支所	0987-23-5231

ライフジャケット着用の推進



ライフジャケット着用は **人生** を
あなたの **人生** を
守ります!

助けたい、助かりたい...。
常時着用は漁業者の大切な命綱。



目で見て、さわって、漁から帰ったら毎日でも

- ベルト、バックル、ファスナー等の破損はないか?
- すりきれ、穴あき、破れはないか?
- 十分な浮力は確保されていますか?
- 作動素は出ていますか?

作動素は必ず救命胴衣の外に出しておいてください。



- 膨張式ライフジャケットの部品(スプールやマガジン、ポンベなど)は定期的に変換していますか?
- 取扱説明書等にある漏洩試験を定期的に行っていますか?

きちんとメンテナンスしないと、いざという時に立たないかも...



漁業者の仲間同士でライフジャケットの着用推進・点検をしよう。

複雑な点検作業は部会などで集まるときに、技術者を呼んでみんなでいきましょう。



フロン排出抑制法(改正フロン法)に 係わる説明会

5月1日(金)に漁連会議室にて各支所・事業所の所長、工場長が出席し改正フロン法についての説明会を開催した。

同改正法は、地球温暖化とオゾン層破壊の原因となるフロン類の排出抑制のため、管理者(所有者など)が機器及びフロン類の適切な管理を義務づけられており、平成27年4月から施行されている。本会においても製氷冷蔵施設など同法の対象施設を運営管理していることから今回、共立冷熱(株)(宮崎市)を招き専門的な立場から漁連に対し説明を行い、同法に則り施設の運営管理を行う為の趣旨徹底を図った。

宮崎みなとまつり開催

5月5日(火)、毎年恒例の宮崎みなとまつりが宮崎港で行われた。深海潜水調査船「支援母船よこすか」と「有人潜水調査船しんかい6500」の一般公開やフェリー体験航海、キャラクターショーなどに大勢の客が集まった。

県内の漁港で水揚げされた魚介類を使った料理対決「美味sea foodバトル」には門川、宮崎市、日南市、南郷の各漁協と本会が出場し、それぞれが自慢の一品料理を300円で販売。購入者の投票により宮崎市漁協のシラス丼がグランプリ1位を獲得した。

また、本会ブースで行われた初かつおのふるまいには、整理券配布に予想を超える長蛇の列ができ、カツオの人氣ぶりが覗える結果となった。



食フェスタinみやざき開催

5月9日(土)から2日間、食フェスタinみやざきが生目の杜運動公園(宮崎市)で行われた。同イベントは宮崎市とJA宮崎中央、宮崎中央森林組合、宮崎市沿岸漁業振興対策協議会の主催によるもので、毎年3万人を超える客で賑わっている。

なかでも県産食材を取り入れたグルメを売り込む人気コーナー『宮崎でげうまグランプリ』が毎年盛り上がりつつあることから、本会も今年初めて出店。オサカナデシコ商品の一つである、めひかりのサクサク唐揚げを販売し、県産魚をアピールした。



S
S
E
Z
I
S
J
B

平成27年度第一回 宮崎のさかなビジネス拡大協議会が開催される!!

5月11日(月)午前10時から宮崎県水産会館会議室で、標記協議会が開催されました。

当日は、委員23名のうち代理を含めて21名が出席されて、第1号議案 監事選任、第2号議案 平成26年度事業実績及び収支決算、第3号議案 平成27年度事業計画及び収支予算等について、熱心に審議が行われまして、新たな監事に矢部委員が全会一致選出され、2号、3号議案も事務局案のとおり、全会一致で承認等が行われました。要旨は下のとおりです。



第2号議案、「平成26年度事業実績及び収支決算について」

具体的な事業内容が下のとおり、予算案とともに説明され、全会一致で承認されました。

I 基本方針

関係機関・団体との密接な連携のもと、県内漁業者等によるマーケットインの視点に基づく商品づくり・販売のスキルアップの誘導や消費者の購買意欲を喚起する効果的などPRの指導・支援等に取り組むことで、県産水産物の消費拡大を図るとともに、漁業、商工業などの水産業の活性化を図り、宮崎のさかなビジネスの拡大に繋げるものとする。

II 取組内容

1 宮崎のさかなビジネス拡大実践事業

① 宮崎ブランドの育成定着

商品向上に係る取組、ブランド認証管理支援

② プロモーション活動の実施

(ア)協議会のHP・販促物等の作製、(イ)ポスター等の作製、(ウ)県域的系統販売組織商品のHP・販促物等の作製

③ 宮崎のさかなへの理解喚起

(ア)県域的イベントの開催等 初かつおフェア 県水産振興大会参加 伊勢えびいただきマンス

(イ)県産水産物のPR活動の実施 県政番組でのPR 水産物のPR活動、販路開拓

(ウ)県内外店舗等と連携した県産水産物の情報発信・PR活動

みやざきの美味しい食づくりプロジェクト 初かつおフェア10周年企画

(エ)食育、地産地消活動の実施

④ その他

(ア)県産水産物の実態把握調査

水産物等実態調査 マーケティング戦略契約書経費

(イ)マーケティング向上支援

講習会の開催 アドバイザーによる巡回指導

(ウ)宮崎のさかなレベルアップ

新商品の開発・販路拡大取組支援

2 協議会運営事業

(1) 協議会の運営

当協議会の開催、当協議会活動推進に係る調整・指導

第3号議案、「平成27年度事業計画及び収支算について」

I 基本方針

本協議会は、関係機関・団体との密接な連携のもと、県内漁業者等によるマーケットインの視点に基づく商品づくり・販売のスキルアップの誘導や消費者の購買意欲を喚起する効果的なPRの指導・支援等に取り組むことで、県産水産物の消費拡大を図るとともに、漁業、商工業などの水産業の活性化を図り、宮崎のさかなビジネスの拡大に繋げるものとする。

II 取組内容

1 宮崎のさかなビジネス戦略構築事業

- ①水産物マーケティング戦略策定プロジェクトに係る取組
 - 商機の可能性のある魚種のマーケット調査及び販路開拓
 - 水産加工業者と連携した新たな流通形態の構築
 - 効果検証及び改善策の検討・実施

2 宮崎のさかなビジネス拡大実践事業

- ①マーケティング力強化支援
 - 新商品開発、販路開拓等の支援
 - マーケティング(テストマーケティング)調査支援
 - 商談会への出展
- ②宮崎のさかな認知度向上支援
 - 県水産物のPR資材等の作成等
 - 県域的イベントの開催
 - 魚本の発刊
 - 食育、地産地消活動の実施

3 協議会運営事業

運営方針の決定等のための協議会の開催等を実施する。

- ①協議会の運営
 - 当協議会の開催
 - 当協議会活動推進に係る調整・指導

人と自然との調和

粒状粉石けん
コンパクトタイプ

洗濯用液体石けん

わかしお を使おう!

資材の購入はJFグループ(漁協・漁連・全漁連)へ

平成27年度第1回理事会

漁連では、5月20日(水)水産会館第一中研修室において、平成27年度第1回理事会を開催し、次の事項について報告及び議案審議を行い、全議案とも原案どおり承認された。

報告事項

第一号報告	資産自己査定について
第二号報告	平成27年度年間行事予定について
第三号報告	コンプライアンス年間計画について
第四号報告	平成26年度監事監査結果について
第五号報告	平成26年度操業効率化支援事業の完了について
第六号報告	第1回JF経営指導宮崎県委員会の結果について
第七号報告	救命いかだ整備工場の運営について
第八号報告	購買事業の一元化について

附議事項

第一号議案	平成26年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、損失金処理(案)、注記表及び附属明細書に関する件
第二号議案	平成27年度事業計画及び収支計画(案)に関する件
第三号議案	平成27年度指導事業賦課金の額及び徴収方法に関する件
第四号議案	平成27年度内における理事及び監事の報酬に関する件
第五号議案	平成27年度内における借入金の最高限度額に関する件
第六号議案	財務改善計画の変更に関する件
第七号議案	役員の補欠選任に関する件
第八号議案	平成27年度通常総会の招集及び附議事項に関する件
第九号議案	役員退任慰労金の支給に関する件
第十号議案	職務分掌並職務権限表の一部改正に関する件
第十一号議案	固定資産の取得に関する件
第十二号議案	石油類の価格改定に関する件

役員候補者推薦委員選出協議会 及び役員候補者推薦会議

漁連では、児玉隼人理事の6月19日付けの辞任を受け、第1回理事会において役員の補欠選任を行うことが決定し、去る5月21日(木)に役員候補者推薦委員選出協議会を開催して、6名の推薦委員を決定した。同日に役員候補者推薦会議を開催し、JF都農町 代表理事組合長 児玉紀明氏が役員候補者として推薦された。(5月22日公告)

平成26年度決算監査実施

漁連では、去る4月1日～4月2日(2日間)、5月14日～20日(内5日間)において、会計監査及び運営会計検査を行った。詳細は以下の通り。

基準日

平成27年3月31日

監査の範囲

会計監査(棚卸品、現金預金)		運営・会計検査	
4/1(水)	本所・宮崎事業所 北浦事業所 日南支所・第一製氷工場	5/14(木)	北浦事業所
4/2(木)	延岡支所・土々呂製氷工場 日南製氷第二工場 南郷事業所	5/15(金)	延岡支所・土々呂製氷工場
		5/18(月)	日南支所・第一、第二製氷工場 南郷事業所
		5/19(火)	本所・宮崎事業所
		5/20(水)	監査講評

新人挨拶

氏名	田畑 孔司
出身	宮崎県日南市
学歴	宮崎県立日南工業高等学校 卒
配属先	購買事業部購買課



志望動機

小さい頃から港街で育っており、海や魚を身近に感じて生活してきました。昔から海に泳ぎに行ったり、海に釣りに行くのが好きでいつか仕事で海や魚に携わる事が出来ればと考えていました。そんな時に宮崎県漁業協同組合連合会の仕事を知り、大変興味を持ち志望しました。

仕事を始めてみて感じたこと

今まで経験したことのない事務業務に戸惑っていますが、上司の方々に教えてもらったことを一つ一つ忘れないよう、分からないことを分からないままにせず、1日を大切に一生懸命仕事をしようと思います。

自己PR

小学校の頃から高校生までサッカーに所属していたので体力と根気強さには自信があります。仕事に対しての知識がないぶん率先して動いて少しでも貢献できるよう、本会業務に努めていきます。



最後に

今まで経験してきた職種とは違う為、覚える事がたくさんありますがもう一度勉強しなおして仕事に取り組みたいと思います。まだまだ未熟な私ですがご指導よろしくをお願いします。

氏名	奈須 充慶
出身	宮崎県宮崎市
学歴	宮崎第一高等学校 電気科 卒
配属先	販売事業部 企画開発室

志望動機

私は、以前から水産業に強い関心があり、高校卒業後は水産仲卸業者や石油基地の管理会社等の職に就きました。近年、水産業は漁獲量の減少や燃油高騰、魚価安、担い手不足など厳しい状態が続いています。このような状況の中、宮崎県漁連は県水産ブランド9種や、近年では女性をターゲットにした新ブランド「オサカナデシコ」の商品開発などにも取り組まれていると知りました。水産業は、日本では斜陽産業と呼ばれていますが世界的に見れば成長産業であり、北欧などは資源管理型漁業で大変な成功を収めていると聞きます。宮崎の水産業にも明るい未来があると信じ、その一助を担いたく志望しました。

仕事を始めてみて感じたこと

水産仲卸で経験した事や人脈を思い出しながら日々取り組んでおります。しかし、活魚や鮮魚、水産加工品、餌など多種多様な物があるので幅広い目線でインプット及びアウトプットが出来るように努めていきたいと思えます。また、職場環境が良く先輩方の年齢も近いので相談しやすい環境で日々過ごしています。

自己PR

小さい頃から魚釣りによく行っているため、魚の名前はほとんど分かります。また、危険物取扱者乙4類やフォークリフト運転技能講習修了証、第三種冷凍機械製造保安責任者などの資格を取得しており現場作業に生かすことが出来ます。ただ、一番の長所は強い憧れがある水産業への思いです。配属先である販売事業部 企画開発室で魚食普及や安価な魚の価格向上に貢献出来るよう目的を持って頑張ります。

最後に

今までの経験を生かし、上司や先輩方と連絡を密に取りながら成長していきたいと思えます。ご迷惑をお掛けする場面があると思いますが、ご指導宜しくお願ひします。漁業生産者の方々から「ありがとう」と言ってもらえるよう業務に取り組みます。



氏名	谷口 進一
出身	宮崎県日南市
学歴	日南学園 卒
配属先	南郷製氷工場

志望動機

自分の祖父は、両方海に関する仕事をしていました。幼き頃からその仕事をする姿に憧れていました。また、自分自身が海の好きということから、宮崎県漁業協同組合連合会に好奇心を持ち志望しました。

仕事を始めてみて感じたこと

出来ないことやしたことのない仕事内容の連続で、今は頭がいっぱいです。その仕事内容以上の内容をこなす上司を見て、すごいと思うと共に、自分も一日でも早く、仕事内容を覚え少しでも周りの人などに貢献出来るよう努力していきたいと思っております。

自己PR

中学、高校で野球をしていました。体力、精神力、挨拶には、自信があります。これらを武器に、人一倍動き、人が気分がよくなるような挨拶をしていきたいと思っております。

最後に

これからも、分からないことなどが数々あると思えますが、自分なりに努力し少しでも本会に貢献出来るよう頑張っておりますので、ご指導宜しくお願ひします。



イセエビの標識放流について

-資源部-

はじめに

イセエビは茨城県以南の太平洋岸、九州西岸にかけて分布し、生息場所は水深5～30mの岩礁地帯に多く、時には水深50mの海域でも採捕されています。主産卵期は4月～9月で、県の漁業調整規則ではこの産卵期に当たる4月15日～8月31日を採捕禁止期間としています。産卵後、卵は約1か月でふ化、ふ化した幼生はフィロソーマと呼ばれ海を漂う生活をします。この「漂う生活」については、どこを漂った後に沿岸に稚エビとなり着定するのか分かっていませんでしたが、近年、フィロソーマ幼生は1年かけて沿岸から黒潮に乗り本州東方沖へ、その後黒潮反流に乗り南西諸島周辺へ輸送され、再び黒潮に乗り、沿岸に戻ってくるということが分かりました。

1.イセエビの資源評価

県では、沿岸資源の資源管理の方向性を定めたり、すでに実践されている資源管理計画の効果検証、改善をするため、平成23年に資源評価委員会を設置しました。平成26年度までに19種の沿岸魚種(甲殻類、頭足類を含む)が評価され、重要資源であるイセエビは毎年評価されています。それではイセエビの平成26年度の資源評価について見てみると、昭和45年から43年間の漁獲量の順位(図1)でみた資源レベルは「低位」、県北・中・南の直近5年間のCPUE(漁獲量/操業日・隻数)の推移(図2)からみた資源動向は「横ばい」となっています。資源水準が低位となっている原因についてははっきりと特定したものはありませんが、提言では資源管理方策として「加入量の増大を目指す取り組みと資源の有効利用」、具体例として「藻場の造成や小型個体の再放流」を上げています。

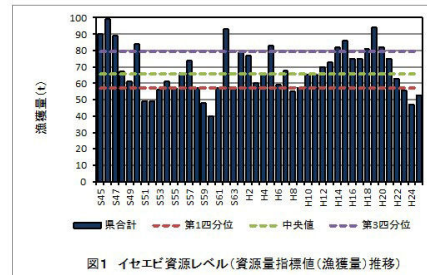


図1:イセエビ資源レベル

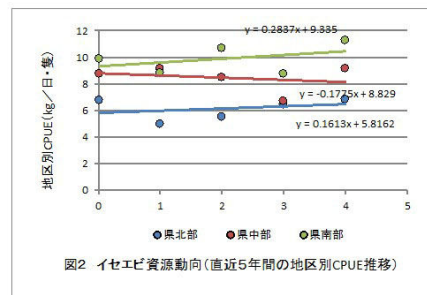


図2:イセエビ資源動向

2.イセエビの標識放流

県では、この提言を踏まえ、イセエビ資源の効率的な利用を目的に、その一環として昨年(平成26年)小型イセエビの標識放流を実施しました。標識放流と再捕により、放流後の移動と成長が分かり、漁業者は再放流の効果を実感でき、また、地域特性に応じた資源管理方策の知見を得る、というのがこの標識放流のねらいとする所です。標識放流は、児湯郡都農町地先(都農川河口沖転石水深10m海域)と日南市宮浦地先(宮浦観音崎沖イセエビ人工礁沈設水深20m海域)で、それぞれ9月3日と10月17日に行いました。放流に供したイセエビは、体長16cm以下の小型エビを用いました。標識はスパゲティー型アンカータグという標識を用い、タグには数字を刻印し個体識別ができるようにしました。標識方法は、頭胸甲と第1腹筋との背面間隙筋肉部に正中線を外してタグガンにより行いました(図3)。都農町地先放流は標識した日に、日南市宮浦地先放流は水産試験場内で標識し(標識日:9月19日)、一時水産試験場内で蓄養し、放流しました(表1)。

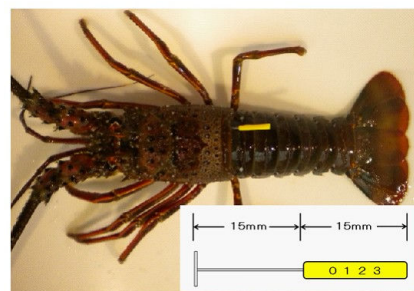


図3:標識装着イセエビと標識

	都農町地先放流	日南市宮浦地先放流
放流日時	平成26年9月3日	平成26年10月17日
放流尾数	94尾	153尾
頭胸甲長(mm)	47.5±3.28	48.8±3.39
体重(g)	97.5±18.73	108.4±18.42

表1:標識イセエビの放流尾数・頭胸甲長・体重

3.再捕結果

放流地先毎の標識放流イセエビの再捕状況(再捕場所・尾数・日時)を図4、5に示しました。

都農地先放流では、12月中までに28尾が再捕されました。放流27日後に16km南で再捕された1事例がありましたが、他は放流場所から2km以内で再捕されました。再捕率は29.8%と他県の報告と比べて比較的高い再捕率でした。

宮浦地先放流では、放流翌年の3月21日までに5尾が再捕されました。再捕場所は放流地点から1.3km以内で、再捕率は3.3%でした。

放流地先毎の再捕イセエビの月別の増重率を表2、3に示しました。

都農町地先放流再捕イセエビの増重率は、9月に再捕された4尾中4尾、10月に再捕された12尾中4尾がマイナスとなっていました。17尾についてはプラスの増重率となっており、最大では10月に再捕された1尾で1.94倍となっていました。

宮浦地先放流再捕イセエビの増重率は、全てプラスの増重率となっており、最大では12月に再捕された1尾で1.44倍となっていました。また、3月に再捕された1尾については標識先端がかじられた様になっており判読はできませんでしたが、放流時の平均体重から増重率を出すと2.28倍となりました。

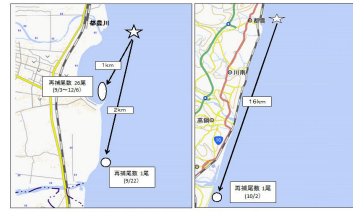


図4:都農町地先放流標識イセエビの再捕状況

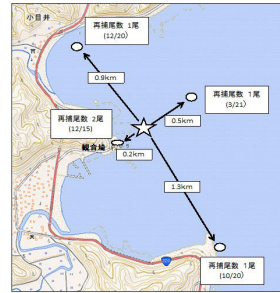


図5:日南市宮浦地先放流標識イセエビの再捕状況

図5:日南市宮浦地先放流標識イセエビの再捕状況

表2 都農町地先放流再捕イセエビの月別増重率

再捕月	再捕尾数	増重率(%)							標識判読不可
		-20 ≤ <-10	-10 ≤ <0	0 ≤ <10	10 ≤ <20	20 ≤ <30	30 ≤		
9月	6尾	2尾	2尾					2尾	*1, *2
10月	12尾	2尾	2尾	1尾	3尾	2尾	2尾		
11月	8尾				3尾	2尾		1尾	*3
12月	2尾			1尾		1尾			
合計	28尾	4尾	4尾	5尾	5尾	2尾	3尾		

*1:再捕報告のみ
*2:頭胸甲長 54.9mm 体重124g
*3:頭胸甲長 50.7mm 体重104g

表2:都農町地先放流再捕イセエビの月別増重率

表3 日南市宮浦地先放流再捕イセエビの月別増重率

再捕月	再捕尾数	増重率(%)							標識判読不可
		-20 ≤ <-10	-10 ≤ <0	0 ≤ <10	10 ≤ <20	20 ≤ <30	30 ≤		
10月	1尾			1尾					
11月									
12月	3尾			1尾				1尾	1尾 *1
1月									
2月									
3月	1尾								1尾 *2
合計	5尾			2尾				1尾	2尾

*1:頭胸甲長 56.3mm 体重166g
*2:頭胸甲長 64.4mm 体重246g

表3:日南市宮浦地先放流再捕イセエビの月別増重率

まとめ

都農町地先放流イセエビについては、割合早い段階で放流地点(禁漁区)から南の方角にある都農港外側の漁場へ移動したと考えられます。

おそらく、放流地点は生息場としてあまり良い環境ではないことが想像されます。放流地点周囲には他にも磯建網の漁場はあるということですが、なぜ港外側の漁場で再捕が集中したかについては分かりません。

宮浦地先放流イセエビについては5尾の再捕に留まっています。都農と同様に放流地点(禁漁区)の周囲にはいくつも磯建網の漁場はあるということですが、網にかかっていません。都農町との対比になりますが、放流地点には人工イセエビ礁が入っていることから、生息場所として適しており、あまり移動していないことが想像されます。

一方、月別増重率ですが、都農町地先で9月、10月でマイナスの増重率のイセエビが8尾いました。このことについて測定ミスも考えましたが、他機関の報告書に「マイナスの増重率となることもある」とあり、実際に減量したと考えます。なお、減量する原因は分かっていません。

今回の標識放流では、都農町地先の1例を除き、同一漁場内で再捕され、その多くが増重していることが示されました。このことから「再放流すれば成長して、また同じ漁場で漁獲される」と言うことが導き出されますが、問題は一夏超えた場合です。他機関の報告でも体長15cm位のイセエビでは放流するとほぼ同漁場で再捕されるが、一夏を超えると数十kmに及ぶ移動をするとの報告もあります。そうなると地先資源の管理だけでなく、隣接する地区、あるいはもっと広域での共同した取り組みが必要となるかもしれません。

9月の漁の解禁が待ち望まれます。

5月の動き(県関係)

19日 宮崎県資源管理協議会総会(宮崎市)

平成27年度宮崎県漁協参事会第一回定例会

宮 崎県漁協参事会(会長・吉村富士男)は、5月1日(金)、会員20名参加のもと水産会館研修室において、第一回定例会を開催した。会は串間市漁協の渡邊参事を議長として議事に入り、協議事項はすべて原案通り承認された。

(協議事項)

- ・平成26年度事業報告書及び収支決算書(案)について
- ・平成27年度事業計画書及び収支予算書(案)について
- ・平成27年度会費の額及び徴収時期の決定について

また、任期満了に伴う役員改選が行われ、下記のとおり選任された。

会長	郡司洋人(宮崎漁協)
副会長	植田務(北浦漁協)、渡邊政彦(串間市漁協)
監事	川部春久(信漁連)

定例会終了後、次のとおり研修会を行った。

第5次宮崎県水産業・漁村振興長期計画の改定について

講師:宮崎県農政水産部水産政策課 課長:成原淳一氏 主幹:大村英二氏 主任:技師溝口幸一氏

宮崎県漁協職連第59回定期総会開催

宮 崎県漁協職員連絡協議会(委員長・片伯部修)は、5月15日(金)水産会館研修室において、第59回定期総会を各漁協職員等21名参加のもと開催した。

提出された平成26年度事業報告書及び収支決算書(案)・平成27年度事業計画書及び収支予算書(案)・平成27年度会費の額及び徴収時期の決定について、全て原案どおり承認決定された。

本年度の主な取組として、以下の活動を行うこととなった。

レクリエーション

ボウリング大会を開催する。

また、任期満了による役員改選が行われ、以下のとおり選出された。

委員長	時任 龍彦(川南町)
副委員長	小池 隼平(延岡市)、鈴木 真一(日南市)
委員	横山 幸三(庵川)、高田 大二郎(日向市)、浅部 淳(宮崎市)、杉本 真大(南郷)、森田 繁和(串間市)、岩谷 明彦(漁連)、日高 仁彦(漁連)、草野 晋太郎(漁連)、日高 健雄(漁船保険)、内田 裕介(共済組合)、井上 礼至郎(共水連)、渡辺 大輔(基金協会)
監事	片野 賢二(島浦町)、日高 誠(日南市)、松田 雅巳(信漁連)

5月の動き

5.1	平成27年度宮崎県漁協参事会第一回定例会 フロン排出抑制法説明会	5.16	お魚料理講習会(小林市立三松中学校)
5.5	みなと祭り	5.18	平成27年度棚卸決算監査(県南)
5.9	食フェスタ	5.19	平成27年度宮崎県資源管理協議会第1回総会 平成27年度棚卸決算監査(本所、宮崎事業所)
5.11	平成27年度 第一回宮崎のさかなビジネス拡大協議会	5.20	平成27年度第1回理事会 推薦委員会
5.14	平成27年度棚卸決算監査(県北)	5.21	役員候補者推薦委員選出協議会
5.15	宮崎県漁協職連第59回定期総会開催		